

令和6年度 府中市クラウドファンディング型ふるさと納税活用公益活動支援事業補助金「ファンファーレ」
ヒアリング・評価シート

事業名【食の支援ネットワークによる地域の助け合いの活性化(食品ロス解消と地域の繋がり強化事業)】

評価項目	評価の視点(ポイント)	ヒアリング内容・所感
公益性	<ul style="list-style-type: none"> 府中市民にとって、より良いまちづくりに繋がる事業であったか。 特定の人々の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与したか。 	支援を必要とする不特定多数の市民に広く還元できた事業であった。
地域課題の明確性・市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えていたか。 市民に求められている事業であったか。 	本事業を通じて必要に応じて被支援者を各支援の窓口へ繋いでおり、必要な事業・団体だと感じている。引き続き出来る範囲で活動を継続して欲しい。
費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容から得られる効果に対して、コストが妥当であったか。 	収入に応じ、可能な範囲の規模での実施をした。
社会的インパクト	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施することで、社会変革の一助や地域課題の解決に寄与したか。 	市の各種イベントに積極的に出展し、支援を必要とする市民への機会を多く設けていることが評価できる。
クラウドファンディング適合性	<ul style="list-style-type: none"> 多くの方(市内外)の共感を得られる事業内容であったか。 資金調達に向けた広報活動に対する意欲やネットワーク力があったか。 返礼品の内容が事業の趣旨に沿っていたか。 	市内外の共感は一定程度得られたと評価できる。

評価結論	評価
<p>全体を通しての総合評価・今後に向けた助言(実施内容、応募者数、利用者数、利用者の声などから)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の継続に当たっては、寄附だけでなく、活動に協力する人員の確保が重要と考える。 本事業の課題が倉庫の確保に係る費用ということであれば、ファンファーレは単年度事業の制度のため、平時の活動ではなく、「倉庫を調達するための資金として」等の目的でファンファーレの活用をしていくことが、今後の活動の継続に繋がる可能性がある。 	<p>(本事業の目的を)</p> <p>達成できた ・ 一部達成した ・ 達成できなかった</p> <p>※ いずれか1つにマルをお願いします。</p>

事業名【egao かけはし 子供国際協力プロジェクト】

評価項目	評価の視点(ポイント)	ヒアリング内容・所感
公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府中市民にとって、より良いまちづくりに繋がる事業であったか。 ・ 特定の人々の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与したか。 	参加を希望する市民を広く募集し、子どもに国際的な体験を提供する事業であった。
地域課題の明確性・市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えていたか。 ・ 市民に求められている事業であったか。 	初回に160名の応募があり、市民のニーズを捉えた事業だったと評価できる。
費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容から得られる効果に対して、コストが妥当であったか。 	収入に応じ、可能な範囲の規模での実施をした。
社会的インパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を実施することで、社会変革の一助や地域課題の解決に寄与したか。 	日本以外の文化やライフスタイルを子どもへ伝え、様々な価値観を知る機会を創出したことが評価できる。
クラウドファンディング適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの方(市内外)の共感を得られる事業内容であったか。 ・ 資金調達に向けた広報活動に対する意欲やネットワーク力があったか。 ・ 返礼品の内容が事業の趣旨に沿っていたか。 	学生ボランティアの参加もあったことから、市民の共感を一定程度得られたと評価できる。

評価結論	評価
<p>全体を通しての総合評価・今後に向けた助言(実施内容、応募者数、利用者数、利用者の声などから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の実施に当たっては、事業の目的が一部不明確なまま、事業が進んだと感じられたため、目的を明確に定めることが重要と考える。 ・ 本事業の継続に当たっては、市民のニーズはあるので、DIVE や他団体と連携をすることで、更なる事業の発展の可能性はある。 	<p>(本事業の目的を)</p> <p>達成できた ・ 一部達成した ・ 達成できなかった</p> <p>※ いずれか1つにマルをお願いします。</p>